

# 道連ニュース

2017年8月号 No.133

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

## 2017年度通常総代会の報告

## 生活クラブ生活協同組合

好天に恵まれた今年度の総代会は、総代定数130名のところ123名（委任状含む）の出席により5月31日に行われました。冒頭の理事長挨拶では、共謀罪についてふれ、「活動する私達にとって生協活動自体が委縮するのではないか」と、監視される社会について話がありました。

議事審議では、2016年度の事業・活動について、総供給高は31億1,928万円（前年対比102.9%）と大きく伸長し、組合員拡大では純増53人となり、過去3年間の加入数のうち20代～40代の子育て世代が占める割合が6割を超え、拡大活動の成果があらわれたとの報告がありました。ほかに、生



活クラブ総合エネルギー政策に基づく電気の共同購入（2016年10月開始）や生活クラブの考える食を地域社会へ広げようと開設した「料理教室プルミエール」（2015年10月開始）については活発な質疑が交わされ、その後すべての事案が承認されました。



生活クラブは食の共同購入を通して見えてきた社会の問題に向き合い、環境や福祉などにも取り組んできました。協同組合としてのたすけあいながら、豊かな地域社会を作ることをめざし、2017年度はたくさんの新しい組合員を迎えたいと思います。

## 取り巻く環境が激変していく中、 組合員が安心して利用できる事業運営を推進

北海道電力生活協同組合「2017年度通常総代会」を6月8日（休）札幌ビューホテル大通公園において、総代定数128名中、123名が出席（うち、委任状出席2名）し開催しました。

議案は①2016年度事業報告、決算報告、監査報告に関する件、②第2号議案2016年度剰余金処分に関する件、③第3号議案 定款の変更に関する件、④総代選挙規約の変更に関する件、⑤2017年度事業計画および収支予算に関する件、⑥2017年度役員報酬額に関する件、⑦退任役員慰労（記念品）に関する件、⑧利用分量割戻金の全額出資金への振替に関する件、⑨組合員の除名に関する件、⑩役員補充に関する件



全10議案を提案・審議し全議案とも可決承認されました。第10号議案の「役員補充に関する件」では、理事3名の役員交代が承認されました。

私たちを取り巻く環境が激変していく中で、組合員とその家族が信頼し・安心してご利用でき、将来にわたって、事業が安定して続けられることが重要であり、スケールメリットを生かした廉価で安心・安全な商品・サービスの提供に努めるとともに、組合員が安心して利用いただける事業運営を推進し、総利用高50億円を目標に、役職員一体となって各種事業の発展に努めていくことを確認し閉会しました。

# 「こども食堂北海道ネットワーク」で応援の輪を!

北海道道生協連「福祉問題を考える会」を中心にこの間、学習と実態把握を続けてきました「子ども食堂」への支援・協働について、道生協連と子ども食堂運営者、支援事業者、行政等が参加して6月26日(月)、45名の参加で「こども食堂北海道ネットワーク」の会が設立されました。

当日は「夏場の食品衛生・安全確保」について大学生協連会合・会員支援本部・食堂支援部田端様からの報告学習会をメインに後半は各運営者及び運営団体の抱えている困難、問題を意見交換し、短い時間でしたが率直な設立の会となりました。

また、翌日の北海道新聞朝刊でこの「ネットワーク」立ち上げ報道があり「道庁」「小樽市」「千歳市」の関係部局様からの問い合わせ、参加希望、個人でのサポート支援希望者からの問い合わせ等もあり、この「子ども食堂」問題への関心の高さを共有する事となりました。7月12日に開催されました「福祉問題を考える会」でも今後のサポート、役割等についてどの様に進めていくのが大切なのか? 貴重な示唆とご意見を共有することが出来ました。今後の対応等については道連理事会、福祉問題を考える会にて慎重な論議の上、進めていく予定です。

## 奨学金に関する実務交流会開かれる

7月13日(木)北海道新聞社本社9階研修室にて2017年度奨学金に関する実務交流会が開かれ、奨学金事業団体6団体(道母連、札幌母連、コープさっぽろ社会福祉基金、道新社会福祉振興基金、廣西・ロジネットジャパン社会貢献基金、大友福祉振興財団)幹事団体3団体(道労福協・HUV 江別港・道生協連)、オブザーバー2団体(北海道文化財団・NPO Kacotam)道総合政策部政策局総合教育推進室が参加し、奨学金団体の奨学金事業の募集方法・選考基準の実際と課題について交流しました。そのなかで、平成28年6月の文科省の『生活保護制度における収入認定除外経費』通達について、市町村の窓口で共有されていない事実も報告されました。今回は、2018年度事業募集について情報交換を実施すること、北海道奨学金ネットワークのHP (<https://hokusyonet.jimdo.com/>) ができたことに伴い、募集を公開しているところは、リンクを張

り、委託募集の場合申し込み問い合わせ先の紹介を掲載するなど、より必要としている方への情報提供場所となるよう検討することが報告されました。

また、道労福協からは、29年4月創設された給付型奨学金制度の先行実施(住民税非課税世帯の私立学生、児童施設退所者等対象)の状況が報告され給付予算枠2800名に対し、1500名の応募しかなく、本当に周知されているのか疑問と来年度予算を減額するのではないかと不安。また、本格実施時の給付型奨学金の学校推薦枠は各高校1名を割り振った上で、残りの枠の数を各高校等の非課税世帯の奨学金貸与者数をもとに配分で非課税世帯の奨学金受給者4.5万人の半数程度と想定とのこと。

まだ、始まったばかりですが、奨学金を必要としている方への各団体の思いが伝わる交流会でした。

### 2017年度 会員生協役員変更のお知らせ

※新任 ◎副理事長 ○常務理事 □常勤理事 (敬称略)

2017年7月1日現在

会員名	理事長名	専務理事名	会員名	理事長名	専務理事名
コープさっぽろ	大見 英明	中島 則裕 ○会田 彰 ○岩藤 正和	上川地区学校	門馬 秀孝	唐島 仁 ○吉越 友子
生活クラブ	山崎 栄子	二川 悟	網走四地区学校	佐藤 正人	○五十嵐泰浩 □斉藤 隆
北海道勤労者住宅	岡島 光行 ◎和田 英浩	大森 宏 ○柴野 一彦 □一ノ刀 広志	大学生協同組合連合会 北海道事業連合	吉見 宏	佐藤 敦紀
北海道労働者共済	山上 潔	堀江 修治	北海道大学	柿澤 宏昭 ◎吉見 宏	岸本 敬一
北海道医療	羽二生輝樹 ※◎渡辺 直志	○佐々木藤夫	北海学園	佐藤 信	※西野 祐司
札幌医療	前野 宏	四十坊克也 □眞野 勉 □工藤 昭子 ※□下澤 一元	北星学園	大原 昌明	山田 盛彦
さっぽろ高齢者福祉	小松 徹人	○柿原 尚美 □齋藤 富子 □光谷 宣範 ※□井上 博仁	札幌学院大学	嶋田 佳広	菅沼 秀也
北海道電力	勸川 敏 ◎佐々木邦彦	古川 崇 ○工藤 健志	北海道教育大学	田口 哲	※熊谷 健治
北海道学校	信岡 聡	三上 耕治	室蘭工業大学	河合 秀樹	石橋 直樹
			帯広畜産大学	渡邊 芳之	山田 正
			北見工業大学	三上 修一	白岩 研治
			あさひかわ福祉	萩原 信弘	遠藤 元美 ○倉島 正